

個別の教育支援計画 Q&A



Q：作成の対象は？

- A：・小・中学校、義務教育学校及び高等学校の通常の学級に在籍する障害のある児童生徒（通級による指導を併用する場合を含む）
 ・小・中学校、義務教育学校の特別支援学級に在籍する児童生徒
 ・特別支援学校に在籍する幼児児童生徒

※指導計画の様式は、対象により異なります。

Q：活用の仕方は？

- A：・保護者との教育相談の資料として
 ・市町教育委員会が開催する教育支援委員会の資料として
 ・各学校が実施する校内教育支援委員会の資料として
 ・進路先への引継ぎの資料として

Q：「合理的配慮」を提供する際の留意点は？

- A：・「合理的配慮」の提供に当たっては、本人・保護者と学校の設置者及び学校が、建設的対話による相互理解を通じて合意形成を図ることが重要です。

Q：保管・管理の方法は？

- A：・個別にファイルを作り、支援機関一覧と指導計画をとり込みます。
 年度が替わるごとに、支援機関一覧を更新し、新しい指導計画を加えます。
 ・関係機関との情報共有や進路先への情報の引継ぎの際には、原則として保護者の了承を得て行います。

※様式は、栃木県教育委員会事務局特別支援教育室のHPからダウンロードできます。

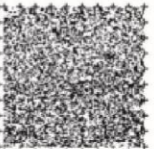
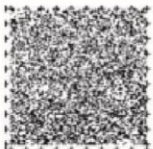
栃木県教育委員会事務局特別支援教育室

〒320-8501 宇都宮市塙田1丁目1-20

Tel.028-623-3381

URL <http://www.pref.tochigi.lg.jp/m05>

発行：平成29年3月



個別の教育支援計画の作成と活用

障害のある子どもが、生涯にわたり自立し社会参加していくことができるよう、就学前から学校卒業後までの一貫した支援を行うことが求められています。

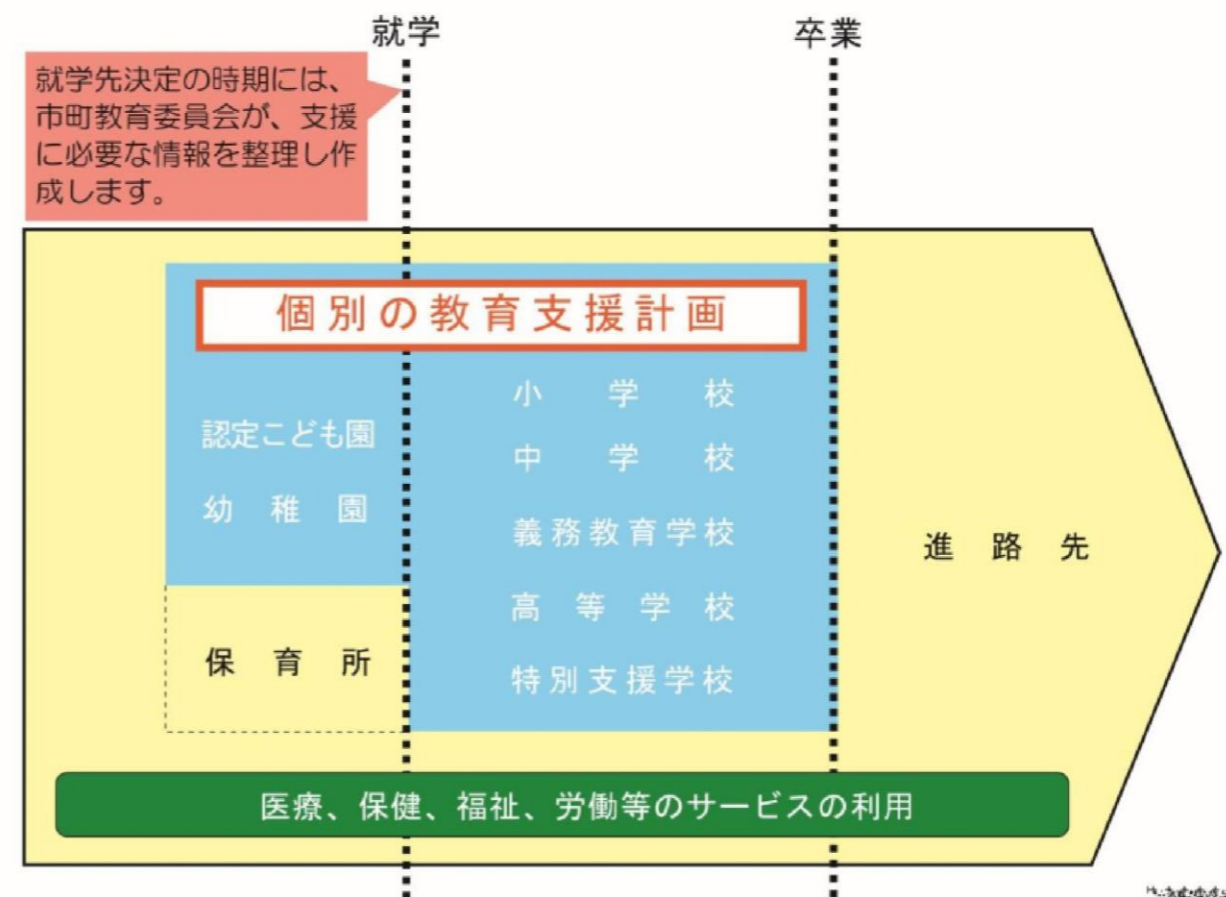
学校においては、特別支援教育コーディネーターを中心とした校内体制を整え、個別の教育支援計画を活用して、家庭や医療、保健、福祉、労働等の関係機関と支援情報の共有化を図りつつ指導・支援に取り組み、その成果を進路先に適切に引き継いでいくことが大切です。



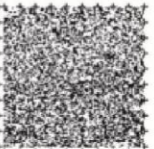
個別の教育支援計画とは？

生涯にわたる一貫した支援を行うため、子どもの各年齢段階における、関係機関による支援の全体像を示すとともに、学校が行う指導の目標や手立て、合理的配慮を示したものです。学校や市町教育委員会が作成します。

子どもの在籍機関と個別の教育支援計画等との関係



このコードは、視覚に障害がある人への情報提供を目的に作られた「音声コード」です。専用の活字文書読み上げ装置で、活字の情報を音声で聞くことができます。



平成〇〇年度 個別の教育支援計画

(小学校 知的障害特別支援学級 第1学年児童の例)

支援機関一覧

各年齢段階において、関係機関による支援の全体像を把握し、役割分担を明確にします。

指導計画

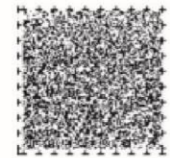
子どもの実態と指導の目標や手立て、合理的配慮を記入します。定期的に指導の評価と改善を行います。その蓄積が子どもの成長の記録となります。

年度の始めに、学級担任が記入します。

学期ごとに、学級担任が記入します。

ふりがな氏名(性)	〇〇〇 〇〇〇 〇〇 〇〇 (〇)	生年月日	平成〇〇年〇月〇日	学校・学年	〇〇立〇〇〇〇学校第1学年
保護者氏名	〇〇 〇〇	住所	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇市〇〇町〇〇〇〇	電話	〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

就学前	小学校・小学部	中学校・中学部	高等学校・高等部	卒業後
〇〇市健康課 障害福祉課 学校教育課	〇〇市健康課 障害福祉課 学校教育課	〇〇市健康課 障害福祉課 学校教育課	〇〇市健康課 障害福祉課 生涯学習課	〇〇市 障害福祉課 生涯学習課
1歳6ヶ月児健康診査 3歳児健康診査 5歳児健康相談 (市保健センター)	小学校第2学年以降は、想定される支援の状況を参考までに記入してあります。			
〇〇病院(小児科) 担当:〇〇〇〇 市子ども発達センター 発達相談:〇〇〇〇 (〇歳~月1回)	〇〇病院(小児科) 担当:〇〇〇〇 放課後等デイサービス(〇〇〇〇)	〇〇病院(小児科) 担当:〇〇〇〇 放課後等デイサービス(〇〇〇〇)	〇〇病院(小児科) 担当:〇〇〇〇 放課後等デイサービス(〇〇〇〇)	〇〇病院(精神神経科) 担当:〇〇〇〇
〇〇幼稚園 担任3歳:〇〇〇〇 4歳:〇〇〇〇 5歳:〇〇〇〇 〇〇特別支援学校 早期教育相談 (〇歳~月1回)	〇〇小学校 担任 1年:〇〇〇〇 2年:〇〇〇〇 3年:〇〇〇〇 4年:〇〇〇〇 5年:〇〇〇〇 6年:〇〇〇〇	〇〇中学校 担任 1年:〇〇〇〇 2年:〇〇〇〇 3年:〇〇〇〇	〇〇特別支援学校 担任 1年:〇〇〇〇 2年:〇〇〇〇 3年:〇〇〇〇	卒業後支援 高3担任:〇〇〇〇 進路指導主事 :〇〇〇〇 同窓会活動
基本的な生活習慣 父、母、姉、祖母	基本的な生活習慣 父、母、姉、祖母	進学・就労に向けた公共交通機関の利用 父、母、姉	就労に向けた公共交通機関の利用 父、母、姉	就労継続への支援 余暇活動 父、母
図書館 コンビニエンスストア	子ども会育成会 図書館 コンビニエンスストア スイミングスクール	子ども会育成会 図書館 コンビニエンスストア スイミングスクール	図書館 コンビニエンスストア	図書館 コンビニエンスストア
			産業現場等での実習 2年:〇〇事業所 3年:〇〇事業所 障害者就業・生活支援センター〇〇 担当:〇〇〇〇 ハローワーク〇〇 担当:〇〇〇〇	障害者就業・生活支援センター〇〇 担当:〇〇〇〇



就学先決定の時期に、市町教育委員会の担当者が情報を整理します。

平成〇〇年4月25日記入

ふりがな氏名	〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇 〇〇	性別	男	学級	1年〇組	記入者名(所属)	〇〇 〇〇 (担任)	
診断名等	診断名:知的障害 平成〇〇年〇月〇日診断 医療機関名:〇〇病院		服薬	有(無)				
検査結果等	検査名	田中ビネー知能検査V						
	検査結果	IQ〇〇						
	実施期日	平成〇〇年〇〇月〇〇日						
	実施機関	〇〇市教育委員会						
障害者手帳	身体	有(無) 種級 (平成 年 月 日 交付)						
	療育	有(無) (B2) (平成〇〇年〇〇月〇〇日交付)・再交付						
	精神	有(無) 種級 (平成 年 月 日 交付)						
家庭状況	・父、母、姉(小3)、本人、祖母の5人家族。 ・休日は父親や姉と一緒に、近所の駅で電車を見ることを好む。							
本人及び保護者の願い	【本人】 ・電車の運転手になりたい。 【保護者】 ・好きなことを生かし、できることを増やして欲しい。 ・通常の学級の友達と学習する機会をつくって欲しい。							
健康上の配慮	・鶏卵によるアレルギーがあるため、給食等に配慮する。 アレルギー症状が出た場合の対応を校内で共通理解しておく。							
学習	うまくいっている状況	・電車が好きで、写真カードを見ながら電車の名前を言うことができる。					つまづいている状況と必要な支援	・自分から「～したい」と言うことが少ない。教師が2～3の選択肢を示すと、選ぶことができる。
	生活習慣	・家族や教師が簡単な手伝いを頼むと、進んで取り組もうとする。					・片付けの最中に遊び出すことがある。作業の手順をメモ帳に絵で示すと、最後までできる。	
対人関係	・好きな友達の名前を覚え、鬼ごっこなど、その友達と同じ遊びをしようとする。					・自分の思いを十分に伝えられず、友達を叩いてしまうことがある。教師が本児の思いを代弁すると、落ち着くことができる。		

(1学期)

1年間の目標	・身近な人に、自ら思いを伝えることができる。		
評価			
教科等	指導目標	指導の手立て	評価
国語	・ひらがなの単語カードの弁別ができる。	・電車の写真と名前カードのマッチングを行い、名前の文字数や形の違いで弁別できるようにする。	
算数	・1から5までの数を数えることができる。	・電車の模型などの具体物を用いて、数詞と模型を対応させながら数えることができるようにする。	
生活	・アサガオの成長に気付くことができる。	・アサガオの世話をしながら、支柱に印をつけたり、写真を撮ったりして、成長に気付くことができるようにする。	
音楽	・友達と声を合わせて歌うことができる。	・授業の導入に電車の歌を取り入れ、友達と歌えるようにする。	
図画工作	・はさみの安全な使い方が分かる。	・電車の絵の切り抜きを行い、教師の見本を見ながら、はさみの安全な使い方が分かるようにする。	
体育	・リレー遊びに参加することができる。	・見通しがもてるよう、スタートとゴールの位置をカラーコーンで示したり、待つ場所を白線で示したりする。	
特別活動	・友達と一緒に遠足に参加することができる。	・見通しがもてるよう、同じ班の友達や日程について、事前に写真カードなどで確認できるようにする。	
自立活動	・自分の思いを教師に伝えることができる。	・本児が安心して話ができるよう、好きな電車についての話を十分に受け止める時間をつくる。	
合理的配慮	教育内容・方法	・本児が意思を伝える場面では、教師が2～3の選択肢を示し、選べるようにする。 ・生活、音楽、体育科は、可能な範囲で通常の学級の授業に参加できるようにし、友達と学ぶ機会をつくる。	
	支援体制	・本児に必要な支援の方法について、周囲の児童や教職員に理解してもらい、同じようにかかわってもらう。 ・災害時に安全に避難できるよう、本児に付き添う教員を決めておく。	
	施設・設備	・安心して教室を移動できるよう、音楽室や体育館の入口にイラストを貼る。	
記載内容について承諾しました。			
平成〇〇年5月10日 保護者氏名(〇〇 〇〇)			